



H30・ 9・18
富岡保育園
年中 No.6

朝夕、すっかり涼しくなりましたが、まだまだ日中は蒸し暑く、思わず保育室のクーラーのスイッチを入れずにはおれません。とは言え、空を見上げると夏の代名詞である入道雲ではなく、秋の空に多く見掛けるいわし雲やうろこ雲が見られるようになりましたが、空から少しずつ、秋が近づくそうです。

早いもので、もう一年の半が過ぎようとしています。あっという間の6ヶ月間でしたが、子どもたちにとっては、この夏、プールあそび、スイミング、セミ取り、水遊び、泥んこ遊び、夏祭りなど様々な行事や遊びを通して貴重な体験ができたと思っています。

こんな言葉を見つけました。「子どもたちは、人とかかわりの中で、社会で暮らしていくために必要となる多くのことを学び、人として生きる力を培っています。保育園に入園した子どもたちは、家庭という小さな社会から、さまざまな人々とともに暮らす保育園という社会に出会います。ここで、どのような体験をし、どのようにそれを積重ねて、生きる力をじっくりと培っていくのが重要となります。

そして、仲間と暮らしながら、たくさんの喜びや楽しさを日々体いっぱい味わっていきます。同様に、怒り、悲しさ、後悔、挫折感、不条理なども体験していきます。相手の思いに出会いながら、改めて自分の思いにも出合っていくという繰り返しのなかから、自他の存在の在り様を実感していくのです。そして互いに自己主張し、折り合いをつけながら人と暮らすことの素晴らしさを感じ、人への深い愛着をもって豊かな関係を築いて生きる術を想像していくのです。」

いかがでしょうか？

9月18日は、サッカー教室です。「サッカー教室」と聞くとサッカーが上手になるためにと思いがちですが、いえいえそれが、鬼ごっこやボール遊びを通して、ボールと仲良しになるところからはじめられるので全く無理なく皆が楽しめるものです。例年なら、年長さんが参加しますが今年は、年中さんもお供します。子どもたちが、どんな反応を見せるか楽しみです。その様子はまた、後日クラスだよりでお知らせします。



おねがい

- ・日中は、まだまだ暑くて汗をかきますので、昼食前にシャワーを浴びています。毎日、シャワー用のタオルを持たせてください。
- ・カラー帽子は、暑さをしのぐためだけではなく、子どもたちの安全確認のためにも必ず必要となります。避難訓練の際も、ベルがなったらまずは帽子をかぶって避難をしますが、その際、帽子が入ってなくて困っている子が、いつもいます。忘れ物をして不安になるのは子どもたちです。
子どもたちは、忘れると「ママが入れてない!」とママのせいにしますが、着替えの準備を子どもたちにもさせて下さると自分でもどこにはいっているかわかるし、ママのせいとは言わないかもしれません。また、一年生になって苦労しないためにも今から自分で、明日の用意をすることは何よりもいいことだと思います。
また、帽子のゴムを確認して伸びている場合は、取り替えて下さい。

たのしかった水遊び・プール・せみとり etc.

子どもたちのいい顔を紹介します。



この夏、これといって感染症も出ず、元気いっぱいの年中さん達でした。

特に男の子たちは、毎日のようにお家から誰かが、虫かごや虫捕り網を持参し、セミやトンボ、カマキリなどたくさんの虫との出会いがありました。命の大切さも感じてくれたようです。

※ 研修に行った際、熊本市子ども文化会館に貼ってあったものです。別紙にてご紹介します。